

A会場			B会場			C会場		
A1 座長:増富 祐司(国環研)			OS-A Internet of Plants (IoP) の共創～作物生産のDXを目指して～ オーガナイザー:北野 雅治(高知大)			ISAM Chair person:Tomoyoshi Hirota (The Univ. Kyusyu)		
10:00	O1	北海道十勝地方の土壌の凍結・融解に関連する気象状況の長期的傾向 ○木村賢人, 明石萌(帯畜大), 原田 裕介(寒地土木研究所), 宗岡寿美, 中島直久(帯畜大)	10:00 -12:00	OS-A-1	Internet of Plants (IoP) の共創 (1) IoPの概念と目指す姿 ○北野雅治, 岩尾忠重, 山崎富弘, 齊藤雅彦, 但田育直, 野村浩一 (高知大学), 安武大輔 (九州大学), 岡安崇史 (九州大学)	10:00	IC-1	Multiplicative Sensitivity of Rice Canopy Evaporation to Atmospheric Carbon Dioxide, Temperature, and Humidity ○Hiroki Ikawa, Toshihiro Hasegawa, Etsushi Kumagai, Hitomi Wakatsuki, Tsuneo Kuwagata (NARO)
10:15	O2	冬の夜温上昇が水田の表層土壌における凍結融解の頻度、土壌団粒画分、炭素と窒素の含有量およびそれらの無機化に与える影響 湯水栄 (海南大・山形大), 袁平 (福建農林大・山形大), 常田岳志, 福岡峰彦, 吉本真由美, 酒井英光, 長谷川利弘 (農環研), 徐星凱 (中国科学院), 俵谷圭太郎・○程為国 (山形大)		OS-A-2	Internet of Plants (IoP) の共創 (2) 作物群落の生理生態の可視化 ○野村浩一 (高知大学)	10:15	IC-2	Application of canopy extinction coefficient models for estimating rice yield of Nikomaru, a Japanese rice cultivar ○Taufiq Yuliawan, Hiroki Oue (Ehime University)
10:30	O3	畑地における風害リスク評価のための土壌水分推定法及び圃場周囲植性の評価法 ○菊池完圭, 松島大 (千葉工大), 白旗雅樹 (農業情報設計社), 西野雅宏 (北海道糖業), 石井岳浩, 柏木浩二, 妹尾吉晃(北海道糖業), 根本学(農研機構・北農研), 鮫島良次(北大)		OS-A-3	Internet of Plants (IoP) の共創 (3) 作物群落の鉛直プロフィールの可視化 ○但田育直 (高知大学)	10:30	IC-3	A systematic review and meta-analysis to quantify heat-tolerance ranks for grain appearance quality in paddy rice ○Hitomi Wakatsuki, Takahiro Takimoto, Yasushi Ishigooka, Motoki Nishimori (NARO), Mototaka Sakata, Naiya Saida, Kousuke Akagi (Kochi pref.), Toshihiro Hasegawa (NARO)
10:45	O4	簡易な現地調査により作成される土壌水分特性曲線を用いたpF値の推定 ○竹内真里, 植山秀紀, 黒瀬義孝 (農研機構 西農研)		OS-A-4	Internet of Plants (IoP) の共創 (4) AIを用いた営農支援 ○岩尾忠重, 北野雅治 (高知大学)			
				OS-A-5	「Internet of Plants (IoP) の共創 (5) IoP研究・実証ハウスの取り組み」 ○齊藤雅彦 (高知大学)			
A1 座長:中野 智子 (中央大)							ISAM Chair person: Toshio Shibuya (Osaka Pref. Univ.)	
11:15	O5	機械学習を用いた土壌呼吸の分離に関する研究 ○坂口香帆, 平野高司, 崔 銳, 梁乃申, 孫力飛 (国環研)	OS-A-6	「Internet of Plants (IoP) の共創 (6) 産地力向上に向けて」 ○山崎富弘 (高知大学)	11:00	IC-4	Characteristics in the stomatal response and photosynthesis of "Himeno-Rin" compared with the other two rice cultivars ○Hiroki Oue, May Myat Mon, Yadanar Zaw, Fadli Irsyad,	
11:30	O6	根のhydraulic lift現象は養液中成分を栽培土壌へ移動させるか? ○松嶋卯月, 佐藤拓弥 (岩手大学)			11:15	IC-5	Screening of isoprene emission from palm species with excised leaf ○張 庭維, 岡本啓志, 谷 晃 (静岡県立大)	
11:45	O7	10年規模気候変動下におけるアラスカ北方林での大気と土壌の物理的相互作用 ○大久保香穂, 岩田拓記 (信州大), 原園芳信, 植山雅仁 (大阪府大), 永野博彦 (新潟大)			11:30	IC-6	High-quality tomato production using an image-based irrigation system with wilting and full-recovery irrigation method ○Fei Zhao, Shoko Hikosaka, Hideo Yoshida, Eiji Goto (Chiba University),	

A会場			B会場		
A2 座長:小南 靖弘(農研機構北農研)			OS-B Close-Range Remote Sensingとフェノタイピング オーガナイザー:大政謙次(高崎健大)、松岡 延浩、濱 侃(千葉大)		
14:00	O8	スギ林内における直達短波放射量と樹木形状の関係: レーザー計測による生態系モデルパラメタリゼーション ○大場真, 中村省吾, 大西悟 (国立環境研究所)	14:00-16:30	OS-B-1	植物の構造と機能のリモートイメージング研究の歩みとフェノタイピング ○大政謙次 (高崎健康福祉大学)
14:15	O9	カラマツ若齢林における根呼吸の成長呼吸と維持呼吸への分離 ○平野高司, 崔鋭, 孫力飛 (北大), 寺本宗正 (鳥取大), 梁 申 (国環研)		OS-B-2	ドローン空撮支援型の圃場試験によるコムギ収量を増加させるダイズ形質の探索 ○深野祐也 (東京大), 郭威 (東京大)
14:30	O10	2018年台風21号被害後の羊ヶ丘実験林における純生態系CO2交換量 ○溝口康子, 山野井克己, 古家直行 (森林総研)		OS-B-3	RTK最適化法 —UAV計測の省力・高精度・汎用化— ○小花和宏之 (農研機構)
14:45	O11	自動撮影画像を利用したモンゴル半乾燥草原の植生動態の推定 ○中野智子 (中央大), 黒崎泰典, 伊藤健彦 (鳥取大), 飯島 慈裕 (三重大),		OS-B-4	3次元データを用いた樹木形状把握-個葉から森林まで- ○加藤顕 (千葉大学), David Riano (UC Davis)
A2 座長: 岡田 将誌 (国環研)				OS-B-5	LiDARを用いた近接観測による個葉の含水率推定 ○松本祐太郎, 濱侃, 松岡延浩 (千葉大)
15:15	O12	渦相関法で測定された北方湖からのメタン放出の経路分離とチャンパー・バブルトラップ法との比較 ○岩田拓記 (信州大), Joachim Jansen (Uppsala Univ), Patrick Crill (Stockholm Univ), Thomas Friberg (Univ Copenhagen), Erik Sahlee (Uppsala Univ)		OS-B-6	近接からセンシングにおける作物の生育状態計測手法の比較: ドローンとLiDAR ○濱侃, 松本祐太郎, 松岡延浩 (千葉大)
15:30	O13	都市域における渦相関法によるNO2フラックスの観測 ○岡村沙南, 植山雅仁 (大阪府立大), 高橋けんし (京都大)			
15:45	O14	渦相関フラックスを用いたハイマツ生態系の光合成生理特性の逆推定 ○田邊憲伸, 岩田拓記 (信州大学)			
A2 座長: 松嶋 卯月 (岩手大)					
16:00	O15	人工衛星データを用いた内陸アラスカの植生の生育期開始における地域スケールの空間変動の解析 ○川嶋しほり, 植山雅仁, 原菌芳信 (大阪府大), 岩田拓記 (信州大), 小林秀樹 (JAMSTEC)			
16:15	O16	大気境界層モデルを用いた北方林サイトにおける対流性降雨の再現 ○落合悠介, 岩田拓記 (信州大), 植山雅仁, 原菌 芳信 (大阪府立大)			
16:30	O17	ボルネオ島の土地被覆変化による水循環の応答 ○佐藤友徳, Shixue Li, 平野高司 (北海道大)			
16:45	O18	熱帯泥炭林における攪乱が蒸発・蒸散量に及ぼす影響 ○大久保晋治郎, 平野高司 (北海道大), Kitso Kusin (パランカラヤ大)			

A会場		B会場		C会場	
OS-C 農業気象学におけるモデル・予測研究とその未来について オーガナイザー:増富祐司(茨大/国環研)、飯泉仁之直(農研機構)		B1 座長:深山 陽子(福島大)		ISAM Chair person:Ryo Matsuda (The Univ. Tokyo)	
9:00-11:30	OS-C-1 東南アジアのコメ生産に対する2016年高温影響の再予測 ○飯泉仁之直, 滝本貴弘 (農研機構), 増富祐司 (茨大/国環研)	9:00	O30 温室イチゴにおける気孔抵抗, 葉肉抵抗, 生化学反応に起因する光合成律運動態の定量的解析 ○小野信太郎, 横山岳, 安武大輔, 広田知良 (九大),	9:00	IC-7 A comprehensive analysis of different CO2 enrichment strategies based on the microclimate, photosynthesis, and energy utilization efficiency ○Zhang Yue, Daisuke Yasutake (The Univ. Kyusyu), Kota Hidaka (NARO), Masaharu Kitano (Kochi Univ.), Tomoyoshi Hirota (The Univ. Kyusyu)
	OS-C-2 日照りに不作為あり? 気候変動に伴う水需給変動が及ぼす日本の水稲収量変動 ○岡田将誌 (国環研), 中河嘉明 (滋賀大), 横沢正幸 (早稲田大)	9:15	O31 イチゴ生産現場への局所適時CO2施用技術の実装とその効果の検証 ○日高功太 (農研機構九沖農研), 安武大輔, Zhang Yue, 岡安崇史 (九州大学農学部), 壇和弘, 曾根一純 (農研機構九沖農研)	9:15	IC-8 Comparison of machine learning methods and classical statistical methods for predicting future fruit tree yields ○Norikazu Okabe, Gen Sakurai, Naoki Ishitsuka (NARO)
	OS-C-3 洪水による全球穀物被害評価の可能性 ○金元植, 飯泉仁之直 (農研機構)	9:30	O32 竹チップ堆肥発酵による小型温室の土壌加温とCO2施用 ○嶋津光鑑 (岐阜大応用生物), 林由希乃 (岐阜大院自然科学技術)	9:30	IC-9 Effect of early planting soil compaction on potato yield in hot summer ○Seiji Shimoda, Maki Kanaya, Yasuhiro Kominami, Hiroyuki Tsuji (NARO/HARC),
	OS-C-4 モデルの使い方を、もう一度考えよう ○小林和彦 (東大)	9:45	O33 二酸化炭素濃度、光強度および培養液濃度がワサビ苗の生育に及ぼす影響 ○深津俊也 (静岡県立大学), 貫井秀樹 (静岡県農林技術研究所次世代栽培システム科), 谷晃 (静岡県立大学)	ISAM Chair person:Hiroki Iwata (Shinshu Univ.)	
	OS-C-5 農業・食料分野の気候変動リスクと適応技術の評価におけるモデリング研究への期待 ○長谷川利拡 (農研機構・農環研)	B1 座長:日高 功太 (農研機構九沖農研)		10:00	IC-10 Correlation analysis between agricultural drought and crop yield loss on wet crop in West Java, Indonesia. ○Amalia Nafisah Rahmani Irawan, Assoc. Prof. Daisuke Komori, Vempi Satriya Adi Hendrawan
	OS-C-6 コマツナの収量予測モデルの開発とオゾン・気温・CO2濃度上昇環境での利用可能性 ○黄瀬佳之, 山中くるみ, 渡壁 佳子, 茂手木悠樹 (山梨大), 橋口佑菜, 藤川あかり, 村山咲乃, 宮口光太, 山口真弘 (長崎大)	10:15	O34 静岡県におけるワサビの夏季育苗の実態調査 ○風岡 菜月 (静岡県立大), 久松 奨 (静岡県農技研), 片井 祐介 (静岡県農技研), 谷晃 (静岡県立大),	10:15	IC-11 A multidisciplinary assessment of forest management scenarios in Sweden under climate change using a landscape model ○Sigvard Olof Bast (KTH Royal Institute of Technology, Sweden), Takashi Machimura (Osaka University), Anouschka Hof (Wageningen University, The Netherlands), Kiichiro Hayashi (Nagoya University),
	OS-C-7 高温耐性品種導入効果の推計による育種目標の設定 ○増富祐司(国立環境研究所), 滝本貴弘(農研機構), 眞部徹(茨城県), 今井葉子(東京大学), 田村誠(茨城大学), 小林和彦(東京大学名誉教授)	10:30	O35 トマト水ほう症の品種間差に及ぼすPressure-Volume Curve (P-V Curve) の影響 ○小沢 聖 (明治大学), 深山 陽子 (福島大学)	10:30	IC-12 Contribution of fog to throughfall and stemflow in montane forest of Popa Mountain Park, Myanmar ○Yadanar Zaw, Hiroki Oue
	10:45	O36 新規量的管理法による養液栽培廃液の抑制 澤春奈, 藤本倫太郎, 大山恭吾, 田代菜菜, ○佐合悠貴 (山口大)			
	11:00	O37 果実肥大モデルパラメータの早期同定によるイチゴ肥大予測: 果柄幅と最大果実体積の関係に基づいて ○照屋佳也(九州大学), 安武大輔(九州大学, 高知大学), 小野信太郎(九州大学), 木村建介(農環研), 井研吾(宮崎県) 廣田知由(九州大学)			

A会場		B会場		C会場	
OS-D 小麦の越冬環境に着目した研究動向 オーガナイザー: 下田星児(農研機構 北農研), 中嶋美幸(農研機構 東北農研)		B2 座長: 藤内 直道 (愛媛大)		C1 座長: 横山 仁 (防災科研)	
9:00 -11:30	OS-D-1 麦類の多様な越冬環境 ○下田星児 (農研機構 北農研), 中嶋美幸 (農研機構 東北農研)	9:00	O38 投影葉面積モニタリングに基づくレタス生育モデルに関する研究 ○馬越康平, 荊木康臣, 佐倉悠貴, 田代葉菜, 植木朋実 (山口大)	9:00	O52 領域気象モデルで利用可能な国内農地の土地利用変化データセットの作成 ○寺谷諒, 丸山 篤志, 佐々木華織 (農研機構), 杉谷大樹, 日下博幸 (筑波大)
	OS-D-2 植物の低温ストレス記憶を模したフェノロジーモデル: 凍霜害リスク評価への利用 ○木村 建介 (農研機構)	9:15	O39 栽培画像を利用した作物植被率評価に関する研究 ○植木朋実, 荊木康臣 (山口大), 重藤祐司 (山口県農林総合技術セ), 鶴山 淨真 (山口県農林総合技術セ),	9:15	O53 深層学習による気象要素の推定 ○石塚帆名子, 岡田啓嗣, 鮫島良次, 今野直道 (北大院農),
	OS-D-3 春化関数を導入したコムギ発育モデルの開発 ○川北哲史 (農研機構 西日本農研)	9:30	O40 クロロフィル蛍光画像計測による電子伝達速度マッピングに関する研究 ○佐伯知範, 荊木康臣, LIU TONGXIN (山口大学)	9:30	O54 温位差とRCS値との回帰の特徴抽出による気温の50mメッシュデータ作成法 ○植山秀紀 (農研機構), 下司純也 (京都府茶研)
	OS-D-4 積雪地域における麦類の幼穂生長と越冬環境について ○島崎由美 (農研機構 中農研), 池永幸子 (農研機構 東北研), 関昌子 (農研機構 中農研)	9:45	O41 再エネを利用した完全人工光植物栽培における発電量に応じた環境調節のための基礎的検討 ○地子智浩, 庄子和博, 石井隆, 伊藤憲彦, 坂東茂 (電中研), 比嘉直人 (ネクステムズ)	9:45	O55 農研機構メッシュ農業気象データを用いた将来の積雪予測 ○小南靖弘, 井上聡 (農研機構東北農研)
	OS-D-5 北部九州の小麦収量と気象条件の関係 ○西尾善太				
		B2 座長: 神田 英司 (鹿児島大)		C1 座長: 植山 秀紀 (農研機構)	
		10:15	O42 気候変動が野菜の収穫量に与える影響について ○傘木廉, 小林みみ子 (公立諏訪東京理大), 杉原敏昭 (横浜美大), 石井一夫 (公立諏訪東京理大),	10:15	O56 2021年8月30日に茨城県古河市から下妻市にかけて発生した突風による農業被害 ○横山仁, 鈴木真一, 出世ゆかり, 岩波越
		10:30	O43 カキ「富有」の満開日推定法の比較 ○杉浦裕義 (農研機構), 杉浦真由 (岐阜県農技セ), 中村剛士 (奈良県農研セ), 竹村佳 (福岡県農総試), 松崎隆介, 菊井玄一郎, 小谷野仁 (農研機構)	10:30	O57 格子ボルツマン法をベースとしたLagrange型地吹雪モデルの開発 ○石川修平 (北大院環), 渡辺力 (北大低温研)
		10:45	O44 パレイショの高温ストレスと長期貯蔵品質について ○金谷真希, 赤井浩太郎, 下田星児, 小南靖弘, 辻博之 (北農研)	10:45	O58 移動観測による都心部緑地が周辺市街地の温熱環境に及ぼす影響の解析 ○飯田彩夏, 矢崎友嗣 (明治大)
		B2 座長: 飯泉 仁之直 (農研機構)		11:00	O59 谷戸地形における夜間気温の時空間変動 ○矢崎友嗣, 久米俊郎 (明治大)
		11:00	O45 2018年7月22~25日(高温期)の間ノ岳-北荒川岳-農島岳-広河内岳-大竜岳-白河内岳の気象特性 ○真木太一(九大名誉教授・学術会議連携会員・北大農学研究院研究員)		
		11:15	O46 九州地域の局地風ーみのう山おろし・まつぼり風・霧島おろし・川内川あらしー ○真木太一 (九大名誉教授・学術会議連携会員・北大農学研究院研究員), 黒瀬義孝 (西日本農業研究センター), 奥島里美 (九州沖縄農業研究センター)		
		11:30	O47 徳之島におけるサトウキビ農業のIoT化によるスマート農業の取り組み ○神田英司 (鹿児島大学農学部)		
		11:45	O48 気候変動が引き起こす水田水資源不足状況に対する適応: ステークホルダーの協力醸成 ○横沢正幸 (早稲田大), 中河嘉明 (滋賀大), 岡田将誌 (国環研)		

A会場			B会場		
A3 座長：下田星児（農研機構北農研）			B3 座長：長谷川利拡（農研機構農環研）		
14:00	O19	諏訪湖からの蒸発量の長期変動の制御要因 ○山田基, 岩田拓記（信州大学）	14:00	O49	白穂に対するフェーンの影響：高解像度気象モデルを用いた数値シミュレーション研究 ○浅野裕樹（筑波大・院），日下博幸（筑波大）
14:15	O20	アオコ添加に対する富栄養湖堆積物中のメタン生成の応答 ○Yang Chun Jet, 岩田拓記, 朴虎東, 宮原裕一（信州大学）, 伊藤雅之（兵庫県立大学）, 高野淑識, 浦井暖史（JAMSTEC）	14:15	O50	災害級の冷夏が近年発生していない理由とは？ ○天野未空, 立花義裕（三重大）, 安藤雄太（新潟大）
14:30	O21	建物屋上の高温環境におけるオオミズゴケの成長特性と栽培法の検討 ○森玲雄, 溝呂木匠太, 板橋大翔, 矢崎友嗣（明治大学）	14:30	O51	ICT時代の「誰でも見られる」農業気象情報発信への取り組みー水稲冷害早期警戒システムの歴史から ○大久保さゆり（東北農研）
14:45	O22	高温を経験したオオミズゴケの光合成速度とクロロフィル蛍光指標の季節変化 ○板橋大翔（明治大学大学院）, 森玲雄, 矢崎友嗣（明治大学）	OS-E 複雑な生育環境の園芸施設における光合成をメインにした生理反応の解析 オーガナイザー：嶋津光鑑（岐阜大）		
A4 座長：西森基貴（農研機構）			15:00-17:00	OS-E-1	同化箱内に再現した太陽光の地表面PPFD時間変動がキュウリ葉の純光合成速度に及ぼす影響 ○久保俊介, 富士原和宏（東大院農）, 村上貴一（農研機構北農研）, 松田伶（東大院農）,
15:15	O23	水稻多収品種オオナリの群落ガス交換特性について ○小野圭介, 伊川 浩樹, 宮田 明（農研機構）	OS-E-2	園芸施設内における植物体リアルタイム光合成・蒸散計測と計測結果の利用 ○藤内直道（愛媛大）, 高山弘太郎（豊橋技科大・愛媛大）	
15:30	O24	安定同位体を用いた水田からの温室効果ガスの評価 ○後藤優治, 関航太郎, 土井俊弘, 登尾浩助,	OS-E-3	CO2収支法で測定した温室内個体群の純光合成速度の深層学習 ○長亘祐（岐阜大院自然科学技術）, 嶋津光鑑（岐阜大応用生物）	
15:45	O25	イネの生育段階ごとにおける根の発達と温室効果ガスフラックスの関係 ○関航太郎, 土井 俊弘, 後藤 優治, 米倉茉優（明治大学大学院）, 塩津文隆, 登尾浩助（明治大学）	OS-E-4	冬季札幌の無加温温室内で寒締め栽培されたホウレンソウの光合成 ○村上貴一, 濱寄 孝弘, 根本学, 井上聡（農研機構）, 広田知良（九大農）	
16:00	O26	プロセスモデルを用いた東アジア水田からのメタン放出量推定 ○伊藤昭彦, 井上晋平（国立環境研究所）, 稲富素子	OS-E-5	昼/夜サイクルを通して変化する光合成産物のローディング動態ー変動環境下におけるイチゴを対象としてー 中井鴻美, 安武大輔, 木村建介（農環研）, 井研吾（宮崎県）, 日高功太（九沖農研）	
A4 座長：小野 圭介（農研機構）			OS-E-6	強風による植物へのストレス影響は遠赤色光と複合的に作用する ○渋谷俊夫, 神藤慶紀, 遠藤良輔, 北宅善昭（大阪府大）	
16:15	O27	干ばつストレスを受け変化するイネ地下部への光合成産物転流様式 ○三好悠太（量研・高崎研）, 相馬史幸（農研機構）, 長尾悠人, 尹永根, 野田祐作, 鈴木伸郎, 山口充孝, 河地有木（量研・高崎研）, 吉田英治, 田久創大, 田島英朗, 山谷泰賀（量研・量医研）, 久家徳之, 寺本翔太, 宇賀優作（農研機構）			
16:30	O28	放牧地における家畜ふん尿からのN2O、CH4フラックスの特徴 ○後藤慎吉（農研機構九州沖縄農業研究センター）, 井原啓貴（農研機構九州沖縄農業研究センター, 現）農林水産省）, 小林創平）, 金子真, 古賀伸久（農研機構九州沖縄農業研究センター）			
16:45	O29	高知県水稲奨励品種決定試験データを用いた高温耐性品種の比較とその導入効果の推定 ○西森基貴, 若月ひとみ（農研機構）, 坂田雅正, 齋田直哉, 赤木浩介（高知農技セ）, 長谷川利拡（農研機構）			